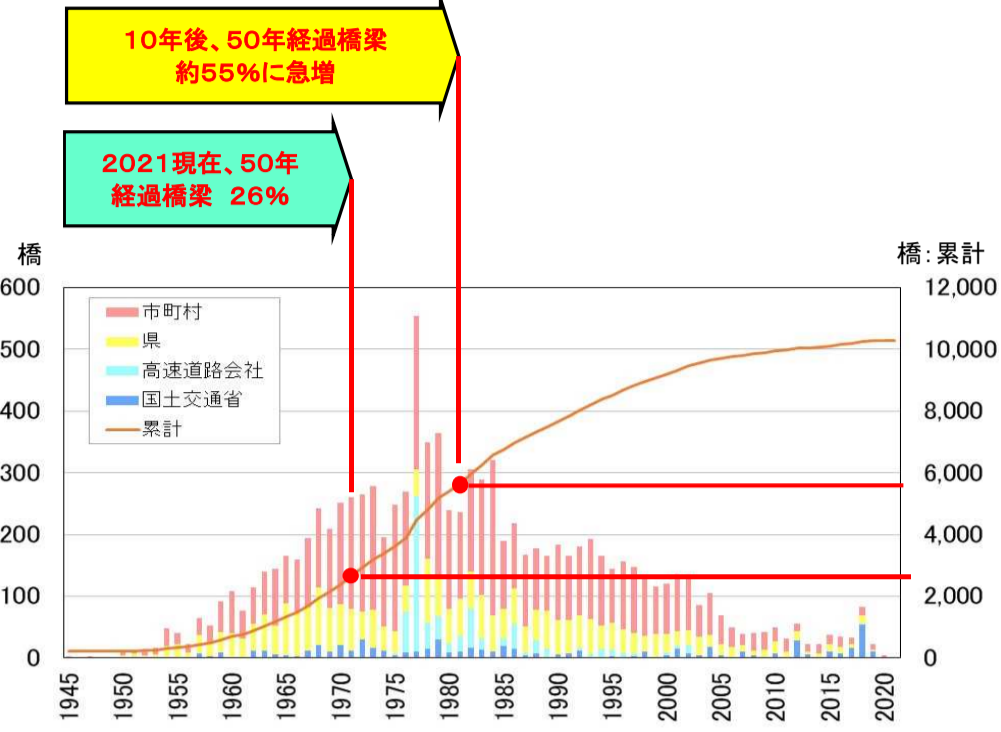
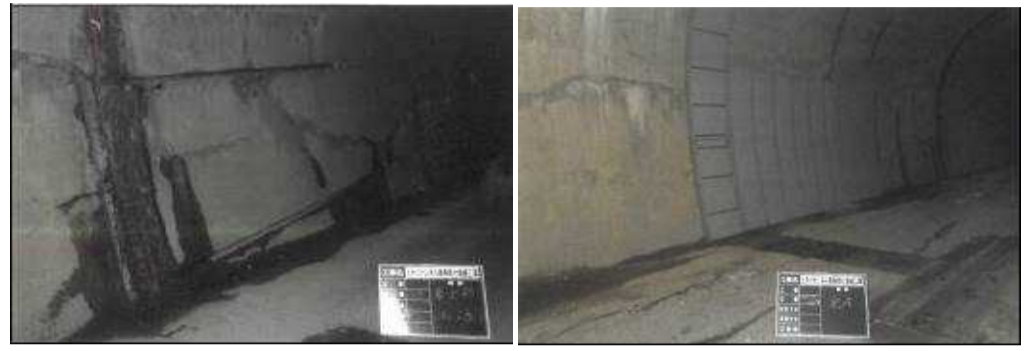


# 老朽化が進む岩手県内の道路構造物の現状と課題

1. 県内の道路構造物の現状  
 道路構造物のうち橋梁は建設後**50年を経過した橋梁は現在、26%に対して10年後には約55%に急増。**



損傷: 主桁・支承腐食      補修: 主桁あて板・支承取替

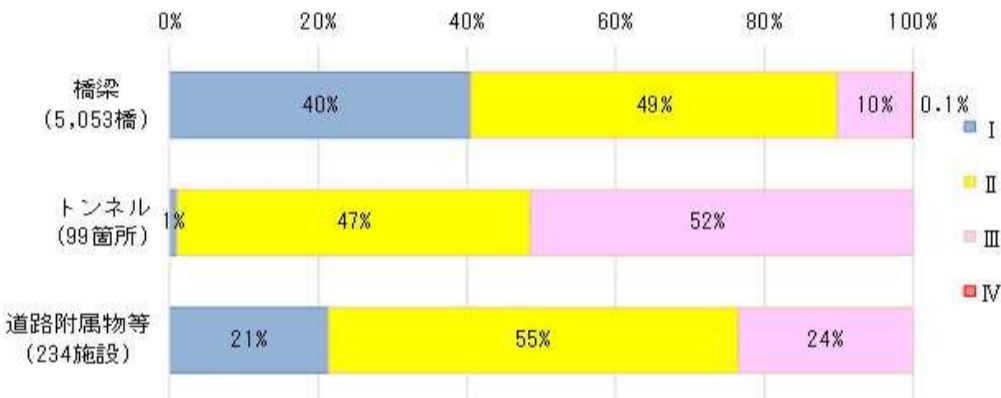


損傷: コンクリートひび割れ・漏水      補修: 導水工



損傷: 防食塗膜の劣化      補修: 塗装塗替

2. 定期点検の実施  
 平成26年度から、すべての道路管理者が**5年に1回の頻度で点検**を行っています。令和元年度から点検サイクル2巡目に入りました。



3. 市町村の課題と支援  
 市町村は土木技術職員の**不足**や**財政的な問題**を抱えており、**技術・財政の両面で支援が必要**です。



市町村職員を対象とした講習会の様子

「岩手県道路メンテナンス会議」  
 道路管理者が連携し技術力の向上、インフラ長寿命化の推進、情報共有や課題解決の連携を深めるため平成26年度に発足

2巡目(2019~2020年度)の判定区分の割合  
 (全道路管理者合計)



健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

橋梁点検を行っている様子

損傷~補修事例



損傷: 鉄筋露出



補修: 断面補修



損傷: 床版コンクリートひび割れ



補修: 炭素繊維シート貼付

4. 土木技術者の担い手の確保・育成を推進  
 岩手県では、R元から**県内工業高校の高校生と協働による橋梁点検**に取り組んでいます。



・県政テレビ番組「いわて! わんこ広報室」で道路インフラの維持管理をテーマとした番組を放送(R3.11月)  
 ・「岩手県公式YouTubeチャンネル」で閲覧可能



岩手県道路メンテナンス会議 事務局  
 ・岩手県 県土整備部 道路環境課 TEL 019-629-5878(直)  
 ・東北地方整備局 岩手河川国道事務所 TEL 019-624-3131(代) 内208, 530  
 HP検索キーワード: 岩手県道路メンテナンス会議 でクリック  
 この資料について詳しくは、  
[http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/michi/pdf/douro\\_mente/211129\\_douro\\_mente.pdf](http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/michi/pdf/douro_mente/211129_douro_mente.pdf)